新冠を存分に満喫

新冠体験ツアー実施

体験ツアー」が8月31日から9月23日まで、 んが新冠町体験ツアーに参加しました。 新冠町の交流人口を増やそうと企画された「新冠 札幌市の子ども会を中心に198名の皆さ 6 回 開

製カレーも提供され、 ヌ文化を体験してもらうトンボ玉製作も行ない 旨に賛同いただき、 このツアーでは、 また、新冠温泉では地場産の野菜を使った特 収穫体験を行なったほか、 町内の農家の方々にツアーの 新冠の味を堪能してもらい アイ ま ま 趣

ながら野菜の収穫を行い、畑やハウスを提供してい いました。 皆さんも喜 ただいた農家 h で 0)

収穫体験では、

参加した子どもたちも目を輝

かせ

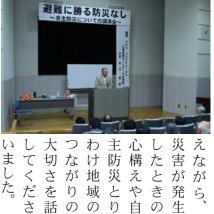
ると参加者全員したが、手作りのルダーが完成す 大喜び では悪戦苦闘 トンボ玉製 して す 作

避難に勝る防災なし 自主防災についての講演会を開

域住民の皆さんなど70名が講演に耳 災についての講演会が開催され、 を傾けました。 10月2日、 レ・コード館で自主防 地

行なっていらっしゃいます。 全国の災害現場に出かけ救援活動を 道代表の山口幸雄さん。 講師は災害救援ネットワーク北 山口さんは

講演では、 山口さんの体験談を交





紅白 に分かれて熱戦を展開

人スポーツ大会(新冠町老人クラブ連合会主催)に 10 第31回新冠町老人スポーツ大会開 月2日、スポーツセンターで第34回新冠町

約140人の皆さんが参加して行なわれました。 上げていました。 も一緒になって応援し、 技参加者はもちろん、競技を観戦している皆さん 種目の競技が行なわれました。 大会では、赤組、白組に別れ、 白熱した競技に大歓声を 競技が始まると競 玉送り競争など10

者全員が楽しめたスポーツ大会となりました。 が、お昼休みには参加者で盆踊りを踊るなど、 大会は、914点を取った白組が勝利しまし 参 加 た

さり、 り上げてくれ 判や受付のお手 皆さんが競技審 ループあゆみの ボランティアグ 入れされたほか、 から参加者全員 イオンズクラブ 伝いをしてくだ にジュースが差 また、 大会を盛 新 冠



した。



楽しく交通安全を学ぶ

こぐまクラブ交通安全教室開催

ぐまクラブ交通安全教室が新冠保育所で開催されま 秋の全国交通安全運動の一環として、9月24日、こ

さや交通事故の怖さについて勉強することができま ゆきんこクラブの皆さんによる腹話術や寸劇などを も次第に引き込まれ、楽しみながら交通安全の大切 通して、交通安全や交通ルールについて学びました。 交通安全教室では、ボランティアの植村雪枝さん、 植村さんの熟練された腹話術や寸劇に子どもたち



たと思います。こ 所の遠藤所長から い」と返事をして ちも元気良く「は れると、子どもた い。」と声を掛けら で守ってくださ をしっかりと学ん れから交通ルール 切を教えてもらっ から交通安全の大 「出演者の皆さん また、新冠駐在

> 1噴出する噴泥現象と呼ばれる現 それは、地中の泥塊などが地

中

象で、

地震



震度 5 弱を観測

新冠泥火山で噴泥現象

は震度5弱を観測しました。 で海溝型地震が発生し、 9月11日午前9時20分、 新冠町で 十勝沖

が見られました。 れている新冠泥火山に大きな変化 北海道文化財天然記念物に指定さ すぐに平静を取り戻しましたが、 幸い、町内で大きな被害はなく

が起きた数 だったそう たほど、大 箇所があっ も隆起した 十秒間の間 に50 5 以上 活



新し) 沿消防防災用軽自動車を導入

動力ポンプが導入され、 竹町長に披露されました。 防防災用軽自動車と小型 組合新冠支署に新しい 9 月10日、 日高中部消 小

され、地域の迅速な防災活 動や消火活動に役立てら 防団第5分団太陽に配備 小型動力ポンプは新冠消 れます。 消防防災用軽自動車と

-央自治会で交通安全看板を設置



設置しました。 看板を新冠小学校の隣に 識を高めるため、交通安全 安全部では交通安全の意 この度、中央自治会交通

めたものだそうです。 る標語は新冠小学校児童 会が学校内で募集して この看板に書かれて 決 41

起こしてください。 かけたら交通安全を思い 皆さんもこの看板を見